

房 総

校友ひろるば

桜が咲く日

平成27年商卒 小林美喜子
その日は30年来の願いが叶う日
でした。女子大生への憧れと、専門知識を学び、習得する楽しさに期待満ちあふれ、踏み出した大学生活から6年の歳月の末、やっと手にした学士号の授与でした。

高校卒業後の進路を決める時、兄が大学へ進学していたので、私も進学しようと思っていたのですが、両親から就職を促され、やむなく進学は断念しました。

鳥取県歴史探訪

昭和49年法卒 仲井 博幸

平成27年10月16日(金)〜18日(日)の3日間、東京の出版社主催の歴史研究第31回全国大会に参加した。鳥取県は、旧国名が因幡・伯耆の国で、古代史跡が豊富にある地区である。

JR鳥取駅前にあるホテルニューオータニ鳥取に宿泊、式典では、鳥取市長の歓迎の挨拶があった。

江戸時代の鳥取県は、池田氏32万石で、鳥取市は、鳥取城を中心とした城下町であった。

白壁土蔵群で有名な倉吉市に到着すると倉吉市長、市図書館長のお出迎えがあり、市長の歓迎の挨拶後、図書館長の案内で市内を見学した。

倉吉市は、千葉県館山市に縁があり、江戸時代の文豪曲亭馬琴がその生涯を傾け著わした大作『南総里見八犬伝』のモデルとなったのが安房・上総の戦国大名里見氏である。

江戸時代初期、里見氏は、館山城を本拠とし、安房(千葉県館山市・南房総市)、鹿島(茨城県)合わせて12万石の大名であったが里見家十代目で藩主の里見忠義22歳の時に徳川幕府の権力闘争に巻き込まれて、安房を没収されて鹿島3万石の替わりの領地として倉吉に国替となった。

倉吉に来るが、実際には領地は無なかった。

特に、播州姫路城主池田光政が鳥取32万石の藩主に国替になると生活は苦しくなり、倉吉に国替になって8年目の時に29歳で死去、大岳院に埋葬された。

3ヶ月後、8名の忠臣が殉死した。その戒名には、賢の文字が刻まれ、やがて八賢士と呼ばれるようになった。

倉吉において、国替で8年しか在任せず、実績もなかった里見忠義が有名なものは、里見氏が『南総里見八犬伝』のモデルとなったからである。

清和源氏新田義重を祖とし、関東で唯一の戦国大名として存在した里見氏の事績は、皆様が御承知していると思うので省略する。

里見氏は、大名家としては途絶えたが、里見忠義の子孫は、旗本越前国の大名家である間部氏に仕官し、明治維新を迎えている。

倉吉市に現在在る大岳院の里見氏、殉死した家臣の墓は、間部氏に仕官した子孫が建立したものである。

中国世界遺産黄河流域王朝の歴史をめぐる旅

昭和50年法卒 山本 良吉

我が市原市は、中国との国交回復を記念して市民訪中団を昭和53年に結成、その後、市長や県会議員を団長として、数次にわたる訪中を繰り返して、民間外交の役割を果たして来ました。

今回の第27回の訪中団の行程は、黄河の流域に開けた王朝の歴史をめぐる西安・洛陽・鄭州の旅であります。平成27年10月16日の朝、成田より北京へ向けて出発し、北京空港

を経て、西安空港に午後4時30分に無事到着しました。この日は、ホテルに直行、西安料理のお持成しで、夕食会が催されました。

翌日は、西安郊外にて始皇帝陵と兵馬俑坑博物館の観光、夕刻大雁塔、華清池見学。晚餐は、ディナーショーで宮廷料理・玄宗皇帝や楊貴妃が楽しんだと云う唐時代の舞踊や歌舞音曲等で、大いに宴を盛り上げてくれました。

西安は中国西北地区の最大の都市であり、秦・漢・唐の3つの強大な王朝を含む13の王朝がここに都を置き、東西の交通をつなぐ要衝として、古代シルクロードの出発点として、ここから西へと旅立ったのです。

洛陽は紀元前十一世紀、周王朝が国都を建設してから9つの王朝が首都を置いたところです。鄭州の歴史は古く、殷の時代より商業都市として栄え、黄河文明の発祥地として、城壁、住居跡や井戸、陶器の窯跡、青銅器製造所等が発見されています。過去三千年の間に何百回もの氾濫を繰り返してきた黄河の展望を眺める様は圧巻でした。

私はこの旅に参加して、紀元前二百二十一年に春秋戦国の世を統一した秦の始皇帝の偉大さが胸に焼きつきました。始皇帝は13歳にして即位、以来36年の長きに亘り、中国全土の支配者として万里の長城の再編築城や新皇居である阿房宮の造営、始皇帝陵の築造、地下宮殿「兵馬俑」の築造等に生涯をかけ、70万人以上の兵士・囚人・農民を動員し、築き上げた結果だと伝えられています。

兵馬俑坑に入り見学してみると、始皇帝の死後の軍隊を模した兵士や軍馬、戦車が整然と並んでいました。始皇帝は、雄大なスケールと強大な軍事力を誇った大秦帝国でしたが、やがて民衆の不満

は頂点に達し、脆くも始皇帝死後数年で滅亡してしまいました。この五泊六日の旅を通して、中国の発展、歴史の一端を学ぶ事は我が人生に於て「至福」の時間を過ごせたことになると思います。これからも元気で人生の旅を急がず、慌てず着実に続けたいと思う次第であります。

『城壁の街ドブロウ』

「二クを行く」2 クロアチア共和国12

昭和54年商卒 高垣むつ子

2015年10月にクロアチアを旅しました。

首都ザグレブを拠点にして、日帰りのドブロウニク観光も楽しみました。

ドブロウニクへは、クロアチア航空の国内線を利用して、行きは朝5時50分発で、帰りは午後3時40分発の便を手配しました。

当日、夜明け前(夜明けは8時頃)の道を、ホテルから12分歩く。空港行きのバスターミナルに着く。情報では深夜でも運行しているトラム(路面電車)があるはずだが走っていない。文句言いたいので、そう文句は言えない。

ザグレブ空港に到着。空港会社チェックインは国内線は1時間前からだが、長蛇の列・フライトに間に合うのかと気を揉むが、手慣れたもので出発20分前には搭乗できた。飛行時間が1時間だから食事は出ないにしても飲み物ぐらいは出るだろうと思っていたら出た。水だけ。リュックに入れておいたクッキーとおせんべいがせめてものなぐさめ。

ドブロウニク空港到着。ユネスコの世界遺産の旧市街まで空港バスで30分。途中、いくつかの街並みが眼下に広がって、これを見ただけでも来たかいたが、

旧市街は城壁に囲まれていて、ピレ門をくぐると、レストラン、ホテル、おみやげ店、教会、広場何でもある通りを歩く。城壁の中がこんなになっているとは想像でしなかつた。途中、雨が激しくなり、雷も鳴ってきたが、城壁の上の通路に登りたくて、一瞬通路に立って対岸を見たら、あの独特の色の屋根瓦が広がっていて、思わずシャッターを切った。後日この写真には雨粒も写っていて、良い思い出になりました。

ザグレブに戻って、まだ夕食には時間があったので、トラムで一つ先のザグレブ中央駅の近くにあるコインランドリーを捜しておきました。翌日ここを利用して、午後から、市内の観光に出掛けました。

ザグレブ中央駅前のトラムの停留所から2つ先のチェラチツ広場はアッパータウンと呼ばれる旧市街で、大勢の人々にぎわっていました。青空市場もあっておもしろい。聖母被昇天大聖堂の近くのカプトルのバス停から106番で10分、ミロゴイ公園墓地に着く。

旧市街の喧噪がうそのよう。紅葉が見事で、雨が上がつて草木が輝いて見える。知り合いの墓はなやが、それぞれの墓石の大きさに驚き、そつと手を合わせる。この時期、ザグレブに行かれるのなら、ここはおすすめです。

今回、はじめてのクロアチア訪問でしたが、英語があまり通じなくて苦労しました。自分でもかなりくわしく調査して行ったと思っただけですが、まだまだ足りませんでした。若い人たちは英語を話せる人はわずかでした。クロアチア語のメモぐらい持って行くべきだったと反省しています。それこそ、おじゃましている国の言葉なのです。

平成26年度会計報告

収支決算書

自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日

| | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1. 収入の部 | | |
| (1)年会費 | 158,000円 | 55名分 |
| (2)懇親会費 | 68,000 | 支部総会懇親会費 |
| (3)寄付金 | 0 | |
| (4)繰越金 | 143,814 | 前年度繰越金 |
| (5)雑収入 | 81,741 | 支部総会補助金・広告料・他 |
| 計 | 451,555円 | |
| 2. 支出の部 | | |
| (1)総会費 | 109,870円 | 支部総会懇親会費・会場代・他 |
| (2)印刷費 | 71,968 | 支部機関紙・支部総会案内状 |
| (3)会議費 | 125,810 | 支部役員会交通費補助金・他 |
| (4)渉外費 | 1,000 | 本部役員との会議茶代 |
| (5)通信交通費 | 45,034 | 会報発送費・郵便料・他 |
| (6)事務消耗品費 | 9,832 | 封筒代・コピー代・他 |
| (7)雑費 | 8,476 | 年会費払込手数料・他 |
| (8)予備費 | 0 | |
| 計 | 371,990円 | |
| 3. 残高 | 79,565円 | |

財産目録

平成27年3月31日

| | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. 資産の部 | | |
| (1)現金 | 28,850円 | |
| (2)普通預金 | 603,115 | ゆうちょ銀行 |
| 計 | 631,965円 | |
| 2. 負債の部 | | |
| (1)預り金 | 152,400円 | 次年度以降年会費 |
| (2)予備費預金積立金 | 400,000 | 普通預金内積立 |
| 計 | 552,400円 | |
| 3. 残高 | 79,565円 | |

以上の通り、平成26年度における収支決算書及び財産目録を作成し、報告致します。
平成27年4月1日

会計担当 高垣 むつ子 ㊟

監査証明書

監査の結果、平成26年度における会計伝票は証憑類に基づいて正しく処理されている。これらの会計記録から作成された収支決算書及び財産目録が正しく表示されていることを証明致します。
平成27年4月6日

監査 高橋 英雄 ㊟

年会費納入者御氏名

(卒年順・敬称略・Sは昭和・Hは平成)

| | | | | | |
|--------------------------|-------|------|----|-------|------|
| 1 平成26年度分(房総第36号つづき) | | | | | |
| 安倍邦子 H26文 | | | | | |
| 合計 55名 158,000円 | | | | | |
| 2 平成27年度分(平成27年11月25日現在) | | | | | |
| 1 | 根本 一夫 | S32文 | 29 | 横田あき子 | H4文 |
| 2 | 目黒 重忠 | S42商 | 30 | 浅見 勇人 | H4法 |
| 3 | 宇井 弘 | S44法 | 31 | 中村 憲司 | H5法 |
| 4 | 阿部 治夫 | S46法 | 32 | 出射 初江 | H6文 |
| 5 | 仲井 博幸 | S49法 | 33 | 高橋 英雄 | H8商 |
| 6 | 堀川 正夫 | S49経 | 34 | 熊木 房江 | H10文 |
| 7 | 山本 良吉 | S50法 | 35 | 馬場 信彦 | H11法 |
| 8 | 菅沼 勝子 | S50文 | 36 | 香取 聖子 | H13文 |
| 9 | 山崎 和夫 | S50商 | 37 | 伊東 淑子 | H14文 |
| 10 | 井原 重之 | S51法 | 38 | 小松 恵子 | H14文 |
| 11 | 岩井貫太郎 | S51法 | 39 | 斉藤紀久江 | H15文 |
| 12 | 大野 直子 | S51経 | 40 | 阿部 文男 | H17文 |
| 13 | 相田 規衛 | S52法 | 41 | 行木 孝 | H18法 |
| 14 | 中川 清光 | S52法 | 42 | 鈴木 邦夫 | H20法 |
| 15 | 増田 吉子 | S53文 | 43 | 清水 弘次 | H20法 |
| 16 | 宮澤 信 | S53商 | 44 | 立澤 文好 | H21経 |
| 17 | 高垣むつ子 | S54商 | 45 | 吉川 美満 | H22法 |
| 18 | 寺嶋 良夫 | S55法 | 46 | 浅野 松伸 | H23法 |
| 19 | 内藤 隆喜 | S55商 | 47 | 高橋 順子 | H23法 |
| 20 | 松野 耕二 | S55商 | 48 | 国澤 美穂 | H23文 |
| 21 | 森 博 | S57法 | 49 | 白井 英夫 | H23経 |
| 22 | 白銀 冬樹 | S57商 | 50 | 金子 周治 | H24法 |
| 23 | 平野 等 | S60法 | 51 | 寺岡 修平 | H26法 |
| 24 | 長野美津江 | S62文 | 52 | 行方 紀枝 | H26文 |
| 25 | 榎本 章 | S63法 | 53 | 宍倉 昌子 | H26経 |
| 26 | 林 眞晟 | S63法 | 54 | 安部 邦子 | H26文 |
| 27 | 黒岩美代子 | S63商 | 55 | 小林美喜子 | H27商 |
| 28 | 出崎 隆治 | H4文 | | | |

書の内容等の変更は、その旨払込書の通信欄でお知らせ下さい。なお、払込用紙の加入者名は、通信教育部校友会の愛称「桜友会」を使用し、「日大千葉桜友会」となっておりますので、ご了承下さい。皆様のご協力をお願いします。

(1)年会費は一口千円ですが、一口以上でお願いします。
(2)平成27年度と28年度を合わせてお払込みされる時は、通信欄に内訳を必ずご記入下さい。
(3)ご住所等の変更は、その旨払込書の通信欄でお知らせ下さい。

年会費納入のお願い

当支部の年会費について、長年に渡り、多くの皆様にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

平成28年度の年会費について、左記の要領にてお払込み下さるようお願い申し上げます。

(1)当支部の予算案を4月に編成するため、お払込み後、当方で現金化するのに1週間かかるため、3月中旬までにお払込みいただきたいと存じます。お払込みの際、窓口ではなくATMをご利用されると、払込手数料が安くて済みます。



千葉県知事届出 第3105号

千葉県知事 許可(般-17)第230216号

株式会社 阿部電業社

〒273-0862 千葉県船橋市駿河台2丁目15番30号
TEL (047)422-8422・426-1331
FAX (047)422-0301

「スバルショップ市原」の株式会社 五井モーター商会さんは、当支部顧問の森博氏(昭和57年法卒 市原市)です。「株式会社 阿部電業社」さんは、当支部幹事の阿部文男氏(平成17年文卒 船橋市)です。
ご協力ありがとうございました。

新車・中古車販売、車検・点検・整備・钣金

スバルショップ市原

(民間車検場 株五井モーター商会) 市原市君塚5-5-9 潮見通り 旧道交差点脇

☎0436(21)5305~6 ☎0120(21)5305